

グローバルシチズンシップセミナー

関西創価高校では、グローバルリーダーの育成を目指して、全校生徒を対象に、国内外より講師をお招きして、グローバルシチズンシップセミナーを実施しており、2016年度は4回実施した。毎回の講演では、最後に質疑応答の時間を取る。生徒からは質問が続々と飛び出すなど、大きな触発を与える機会となっている。

【第1回 2016年4月16日 織田 友理子氏】

NPO法人PADM代表（遠位型ミオパチー患者会）で、車椅子ウォーカー代表の織田友理子氏をお迎えし、「今を生ききる 難病・障害をバネに」とのテーマで講演を行って頂いた。

織田氏は、大学在学時に遠位型ミオパチーという筋力が低下する病気を発病。希少疾病のため、現在も治療法・治療薬が一切なく、進行する病気に立ち向かいながら、シンポジウム開催や署名の実施など、患者の声を届ける取り組みを続けておられる。

織田氏は、講演で生きていること自体が奇跡で、与えられた命に感謝することの大切さ、自分にできることや自分にしかできないこと、今しかできないことを見つけ、挑戦して欲しいとお話して下さった。終了後は、希望者との懇談会も行われた。



【第2回 2016年5月7日 ケビン・クレメンツ博士】

ニュージーランドのオタゴ大学教授で、オタゴ大学国立平和紛争研究所所長を務める、ケビン・クレメンツ博士と、ヴァレリー夫人をお迎えした。

「21世紀の平和を担う君たちへ 愛と勇気と希望を」と題した講演では、「愛」「勇気」「希望」が新時代の平和を築く一人一人に必要であり、この3つは、成績にも才能にも関係なく、どんな人にも持つことができることを通し、次の平和建設を生徒に託して下さった。

終了後は、ラーニングクラスターの生徒とのワークショップが行われた。異なる考えの人とどのように調和していけばよいかとの質問に対して、大事なことはまず、違いを認め合うこと、そして更に共通点から建設することと教えて下さった。



【第3回 2016年10月15日 羽賀 文湖氏】

創価大学キャリア科目講師の羽賀文湖氏をお迎えし、「未来をつくるキャリアデザイン」とのテーマで講演を行って頂いた。自分の人生を振り返り、今の自分に影響を与えた経験を挙げ、どのような力が身についたのかを考えた。そして自分が行動を決定する上で大切にしている価値基準について、ディスカッションを行った。

自分の特徴や、今までの経験を通して得たことを見つめ直す、よいきっかけとなった。



【第4回 2016年11月17日 マリア・グアハルド博士】

創価大学よりマリア・グアハルド副学長補をお迎えし、「The Future Begins Here—Great Dreams Taking Flight」とのテーマで講演を行って頂いた。自身の体験を通し、世界市民として必要な要件を提示され、今こそ英知を磨くときであると話を結ばれた。また、終了後には代表生徒との質問会を実施。

「大きな決断をするとき、何を大切にしているか？」との質問に対して、「私の人生にとって一番価値を創造できる生き方は何か」と問いかけたことを通して、「勇気で決断したことには後悔がなく、またその決断が一番よかったと言えるようにすること」と教えてくださった。



(※講師の所属・役職は講演当時)